

叙勲「瑞寶雙光章」を受賞して

石川 昇

公益社団法人埼玉県診療放射線技師会会員の皆さまにおかれましては、ますます、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて私こと、平成 29 年春の叙勲において図らずも、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会の推薦により瑞寶雙光章の栄に浴することが出来ました。これもひとえに長年にわたり歴代会長をはじめ、多くの先輩また同僚そして会員 1,200 人の皆さまに支えられた賜物とあらためて深く感謝申し上げます。

先の平成 29 年 5 月 2 日知事公館において勲記勲章の伝達式、そして 5 月 11 日皇居内「春秋の間」において、天皇陛下の拝賜を賜り、身の引き締まる思いで感謝と感激でいっぱいであります。また先日 9 月 16 日に第四支部斎藤支部長・発起人代表小島精一氏・実行委員長清水文孝氏・事務局長角田喜彦氏そして第四支部の皆さまの元、マロウドイン熊谷において私の受賞祝賀会を企画し多くの皆さまのご臨席を賜り盛大に開催できましたことをあらためて感謝致します。

振り返りますと、団塊の世代の一人として高度経済成長そして大量生産大量消費文明の中、医療界も大きく技術革新がなされ、変革の流れの中で約 38 年の技師生活を送ってまいりました。

今後もこの榮譽に恥じることないように一層精進し、これからは、ボランティア活動を通じ、皆さまから受けた恩をお返ししながら人生を歩んでまいりたいと思っており、なお一層のご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

末筆ながら、公益社団法人埼玉県診療放射線技師会のますますの発展と会員御一人御一人のご健勝とご多幸を心よりお祈りし、ご報告とお礼の言葉とさせていただきます。



平成 29 年度 救急（BLS）セミナー開催報告（第一支部開催） ～一次救命処置を習得しよう～

学術理事 中根 淳

平成 29 年 9 月 29 日（金）に、浦和コミュニティセンターで救急セミナーが開催された。セミナーの参加人数は 14 人であった。今回は、本会と第一支部との共同開催のため、第一支部会員の方々を中心に参加していただいた。プログラムおよび講師は以下の通りである。

1. ミニアンを用いた BLS 講習および実習

講師（インストラクター）敬称略

井田 篤（上尾中央総合病院）	岡村 聡志（上尾中央総合病院）
佐々木 健（上尾中央総合病院）	滝口 泰徳（上尾中央総合病院）
中山 勝雅（上尾中央総合病院）	矢島 慧介（上尾中央総合病院）
吉野 和広（上尾中央総合病院）	大根田 純（埼玉医科大学総合医療センター）

埼玉県診療放射線技師会として毎年行っている救急（BLS）セミナーでは、ミニアンを参加者 1 人に 1 体用意し、今回は受講生 2 人に対して、インストラクターを 1 人配置し、質の高い BLS を習得していただいた。今回も講師の方と参加者が一体となって、実技講習を進行することができた。胸骨圧迫に用いるミニアンは、しっかりと圧迫すると「カチ、カチ、カチ」と音になる仕組みになっている。胸骨圧迫は、1 分間に 100 回以上、120 回未満で押すことが推奨されており、会場内では、この音がリズムカルに鳴っていた。参加者の方には、明日から使える知識を持って帰っていただけたのではないかと考えている。

最後になりますが、講師の皆さま、埼玉県診療放射線技師会第一支部役員の皆さま、およびセミナーに参加していただいた会員の皆さまにこの場をお借りして、心よりお礼申し上げます。



第6回 Freed セミナー報告

上尾中央総合病院 佐々木 健

平成 29 年 12 月 2 日（土）に、第 6 回 Freed セミナーを上尾中央総合病院で開催致しました。今回は「組織の血液」と表現される、ハウレンソウ（報告・連絡・相談）に焦点を当て、マンダラシートを用いた問題解決手法をグループワークで行いました。

当日は天候に恵まれ、日向は暖かい陽気でしたが、会場は参加者の活発な議論により暑いくらいでした。どこの施設でもハウレンソウの問題点はあるようで、自分が考える問題点が共通の問題点なのか、思っているのが自分だけではないのか、から始め、出揃った問題点から共通の解決すべき課題を見つけ出しました。その後、マンダラシートを使い、問題解決法を考え、実際の解決までのスケジュールを立てていただきました。

心にある問題点（不満や不安）をいつまでも抱えていると、いつか爆発してしまいます。セミナーを通じて発散することも大切ですが、発散するだけでなく、解決するにはどうすればよいのかを学び、問題点の改善を実感できるようになれる、成長の一助となるセミナーを今後も企画したいと思います。

＜セミナー風景＞

チーム：ポパイ



チーム：NGP

チーム：ガラスのモモンガ

チーム：あやせゆまと



チーム：A 選抜



平成 29 年度第 16 回胸部認定講習会報告

学術委員 滝口 泰徳

平成 29 年 12 月 3 日（日）に、第 16 回胸部認定講習会が開催された。

講習会参加人数は会員 13 人、非会員 8 人の 21 人であった。昨年度より参加者は減少したが、非会員の方の参加が例年よりも多く、本講習会を通じ、埼玉県診療放射線技師会の学術事業に興味を持っていただき、会員数の増加につながることを願う。講習会を行うに当たり、ご協力いただいた講師の先生方、またご参加いただいた受講生の皆さまにこの場をお借りしてお礼を申し上げる。今後も内容をより充実させ、魅力的な講習会を開催していきたい。

内容と講師は以下の通りである。

・胸部単純写真の撮影法	久我山病院	柴 俊幸
・装置の基礎	株式会社島津製作所	清水 達也
・胸部単純写真の適正線量と被ばく	埼玉県済生会川口総合病院	土田 拓治
・胸部の CT 診断	羽生総合病院	染野 智弘
・胸部単純写真を診る	上尾中央総合病院	滝口 泰徳
・胸部単純写真の読影法	上尾中央総合病院	佐々木 健

アンケート結果

難易度	簡単	やや簡単	適度	やや難しい	難しい
胸部単純写真の読影法	1	3	16		
装置の基礎		2	13	4	1
胸部単純写真の適正線量と被ばく			10	8	2
胸部の CT			11	8	1
胸部単純写真を診る		1	16	3	
胸部単純写真の読影法			14	6	



公益社団法人日本診療放射線技師会 診療放射線技師基礎技術講習会 「MRI 検査」 北関東地域（埼玉県）開催報告

総務常務理事 城處 洋輔

平成 29 年 11 月 12 日（日）に、日本診療放射線技師会主催による基礎技術講習会「MRI 検査」が、埼玉県済生会川口総合病院で開催された。県内外を合わせて 63 人と多数ご参加いただき、MRI 検査における関心の高さをあらためて感じた。休日にもかかわらずご参加いただいた受講生の皆さま、また講師・会場スタッフの皆さまにはこの場をお借りしてお礼申し上げます。



プログラム

平成 29 年 11 月 12 日（日）

	時 間	科 目	講 師
1	8:30～8:50	受付	
2	8:50～9:00	開講式・オリエンテーション	
4	9:00～10:00	基礎原理	埼玉県済生会川口総合病院 浜野 洋平
5	10:05～10:50	MRI 装置	埼玉県済生会栗橋病院 渡邊 城大
6	11:00～12:15	パルスシーケンスと 画像コントラスト	草加市立病院 佐藤 広崇
7	12:15～13:15	昼休憩	
8	13:15～14:45	アーチファクト・ 脂肪抑制・造影剤	埼玉医科大学病院 渡部 進一
9	14:55～15:40	画像評価・性能評価	自治医科大学附属さいたま医療センター 池田 欣正
10	15:45～16:30	安全管理	獨協医科大学埼玉医療センター 宿谷 俊郎
11	16:40～16:45	確認テスト説明・問題用紙配布	
12	16:45～17:15	確認テスト	
13	17:15～17:20	確認テスト解答回収など	
14	17:20～17:30	修了式（修了証書授与）	

（敬称略）